

湘南ライフタウンを住みよいまちへ。

私が入り組みます。

詳しくは
裏面へ
GO!

■ 渋滞解消

辻堂駅北口周辺の渋滞解消に向けた取り組みを推進します。
BRT・交通規制・バス経路の再編などの効率的な道路利用で、
バスでも自家用車でも時間の読めるアクセス確保。
常時、ライフタウン～辻堂駅間15分を実現し、交通不便地域の解消をします。

■ 超高齢化対策

湘南ライフタウンは大型団地を中心に形成されており、
一部の団地エリアの高齢化率は36%を超えています。(市平均の高齢化率 22.76%)
団地の高齢化は隣接する周辺地区にも大きな影響がある深刻な問題です。
子育て世代や若い居住者を増やし、高齢者外出支援の充実で街を再活性化します。

湘南ライフタウン 駒寄地区 在住
藤沢市議会議員 友田そうや

2011年
公約達成率
90.47%

要望
実現数
30件

1期4年の議会活動を通じて、 様々な方々との出会いで実現しました。

- ◆障がい者日常生活用具支援制度の事業費が業者に流出している可能性を指摘、業者より事業予算の約1割が返還。
- ◆行政オンブズマン制度の1件当たり処理コストが130万円であることを指摘、執行体制の見直しで合計報酬額の54%減額。
- ◆クラウドファンディング導入で新たな事業予算の確保。
- ◆市が把握してこなかった市内団地の高齢化率が36%を超えていることを独自調査で公表。これにより団地再生の調査が開始。
- ◆紙おむつ支援事業の対象者拡充で後天的事由で障がいを持たれた方々も利用可能に。
- ◆H27年度中に取り壊しの西部合同調理場跡地は滝の沢中学校のサブグラウンドとして活用が決定。
・・・その他、合計30の要望を実現。詳しくはHPへ。

ふじさわを1番のまちに！ そのための重点政策

- 議員報酬の2割削減で69百万円/年の財源確保。
- 政務活動費は会派支給ではなく個人支給で実質弁償の導入を。

- 海岸にドッグランとBBQ場の整備
- 障がい者雇用と所得向上の推進、親なき後の支援体制の確立。
- バス停にベンチと屋根の設置推進、やさしいまちへ。
- 高齢者外出支援として「高齢者ゆめバスカード」の復活と地域乗合いタクシーの展開推進。
- 辻堂駅から湘南ライフタウンまでの(仮)南北軸線の渋滞を早期解消。
- 高齢化率の極めて高い団地再生を。早急な対策と再生計画の策定。
- 中学まで小児医療費助成(所得制限)の拡充。
- 家庭の経済環境に左右されない高等教育機会(大学等)の提供。
- 犬猫殺処分ゼロの継続と保護団体の支援拡充

profile

1976年5月11日(38歳)
藤沢生まれ藤沢育ち。
駒寄小学校(駒寄FC)
滝の沢中学校(サッカー部)
藤嶺学園藤沢高等学校 卒業
民間出身・国会議員秘書
藤沢市議会議員(1期目)

これまでの役職

神奈川県若手市議の会 代表
全国若手市議の会 副会長
行政改革特別委員会 副委員長
駒寄地区 夏祭り実行委員
滝の沢中学校避難施設運営委員
第一駒寄自治会 副会長

好きな言葉

「至誠にして動かざる者は
未だこれ有らざるなり」

The改革。



■ 渋滞解消と利便性向上で住みよいまちへ

湘南ライフタウンの再生・活性化。超高齢化の進展対応と通勤通学の利便性向上を進めるためには、(仮称)新南北軸線の整備と高齢者外出支援を行うことが必要です。

- ・既存バス路線の再編と路線の拡充
- ・通勤時間帯の羽鳥交差点～辻堂駅間は駐停車規制強化
- ・バス高速輸送システム(BRT)の推進
- ・乗り合いタクシー導入で地域交通の充実
- ・ゆめバスカード復活で高齢者が外出しやすい環境整備



上記5点を進め、辻堂駅北口の都市開発以前のように**駅まで15分で到着できる**当たり前のアクセス環境を再び取り戻します。そして高齢化が顕著に進む湘南ライフタウンの高齢者外出支援を充実します。

また、将来的にはいずみ野線の延伸に寄与する、いわゆるB駅を起点とする幹線交通システムの検討を進め、湘南ライフタウンを再び魅力的な住環境にします。

■ 高齢化対策で持続可能な住みよいまちへ

現役で働く世代が利便性のよい地域に転出してしまおう一方、新たな転入者が少ないことが高齢化と人口の社会減につながっている大きな要因の1つ。湘南ライフタウンの特徴でもある大型団地の高齢化と空洞化が進めば、団地を中心に形成されている地域や周辺環境への影響、多世代間交流の機会損失で地域力の低下に繋がります。地域の持続的発展に資するためには今から早急に対策を行うことが必要です。

市は新駅構想と新たな街づくりを進めていますが、居住者が減少している地区にどのように人を増やしていくかも併せて考えていく必要があるのではないのでしょうか？

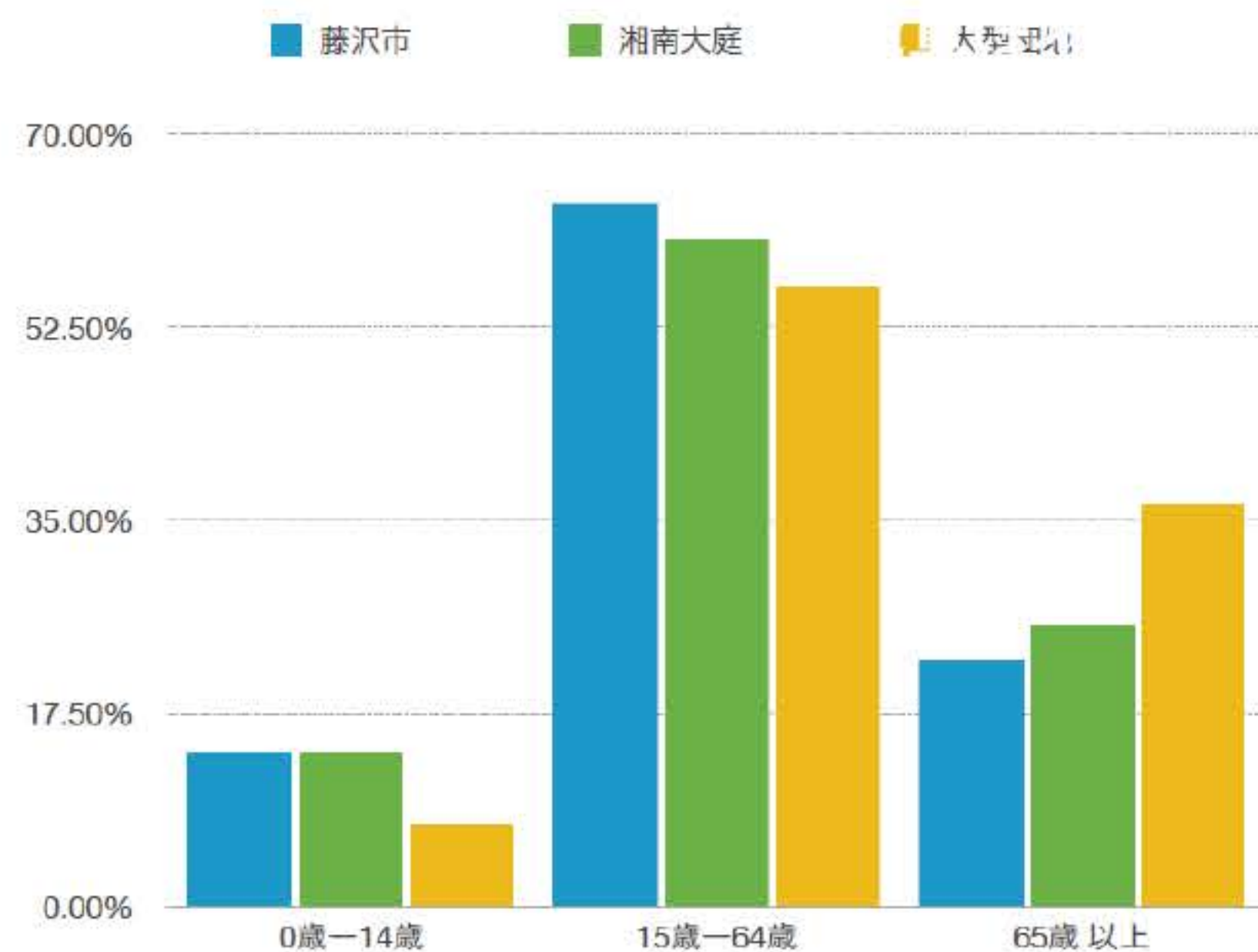
湘南大庭地区の現状

- ・人口は平成25年の3万2,000人をピークに減少に転じる。
- ・高齢化率は平成26年で26.5%と他の地区よりも極めて高い。
- ・平成29年には30%を上回り、人口減少がもっとも進むと推計される。
- ・一部の大型団地エリアでは既に高齢化率が36.4%に上り、居住者がここ3年間で100名減少するなど、高齢化と居住離れが顕著に進む。

湘南ライフタウンの特性

- ・黒川紀章の設計、神奈川街並み100選の緑豊かな住環境。
- ・保育園、幼稚園、公園が多く、子育てしやすい環境。
- ・物件取得価格、賃貸価格が低い。
- ・生活支援機能が充実(スーパー、銀行、郵便局、ファミレス、スーパー銭湯)
- ・1次救急の保健医療センターを有する。
- ・慶應大学、日本大学、多摩大学、文教大学までのアクセスの良さ。

年齢3区分別人口割合の比較



地域特性を活かし、若年居住者の増加に寄与する施策の展開

- ・渋滞解消。通勤通学の際の公共交通の利便性を向上させる。
- ・団地再生基本指針の策定で計画的な施策の展開
- ・転入者に対し居住ニーズに則した団地リノベーション助成事業の創設
- ・大型団地等の外付けエレベーター設置の補助金創設
- ・学生に対する家賃補助(ルームシェアと自治会活動参加が条件)

大学との連携による多世代コミュニティの再生

